

## ●センターの活動報告●

---

### アフターコロナ/ニューノーマル時代における「新しいDXマーケット」探索セミナー 開催報告

令和3年3月5日（金）、オンラインにて当センターと（公財）九州経済調査協会との共催による上記セミナーを開催しました。

当センターでは、社会構造の変化に加え、デジタル技術の浸透により生じている様々な市場変化をいち早く捉え、的確な製品・システム・サービス等を開発し、提供することを目的に「市場ニーズ探索研究会」を一つの事業として取り組んできました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の市場への影響に焦点をあて、アフターコロナ/ニューノーマルにおける社会・地域の課題解決の観点から社会的に喫緊の課題となっているオンラインでの「医療」「防災」「教育」「働き方・ワーケーション」分野の取り組み状況とその課題報告を九州経済調査協会に依頼し、関係各所の問題意識を醸成することを目的に、調査報告会を実施しました。また報告会では、政府・九州経済産業局のDX関連の令和3年度予算についても説明しました。

調査報告に先立ち、（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター主任研究員 <sup>もんかわ あきら</sup> 紋川 亮氏より『コロナ禍後の社会変化と期待されるイノベーション』と題して、社会変化の実情と今後の予想についてご講演いただきました。

続いて、経済産業省通商政策局 北東アジア課総括係長 <sup>しみず まみこ</sup> 清水 真美子氏より『コロナ禍の中国で進んだ社会実装の正体～医療/教育/会議』と題して、コロナ禍の中国の現状とこれからの方向性について、具体例をきめ細やかにお話しいただきました。特に清水氏のお話は具体例が豊富で視聴者に非常にわかりやすかったと好評でした。

本セミナーには168名が参加し、参加者アンケート（回答者76名）によると視聴者の97%が満足し、具体的な取り組みを起こしたいとの感想でした。また、83%の方が自身のやるべきことが明確になったとの回答でした。

●センターの活動報告●

---

当センターでは、アンケートの意見や調査報告を踏まえて、次年度以降、DX講座やDX人材育成講座を開催してまいります。皆さまの積極的なご参加をお願いいたします。

(公財)九州経済調査協会 調査研究部 部長 片山 礼二郎による

『KOIC 令和2年度調査成果報告』の様子



(一財)九州オープンイノベーションセンター 常務理事 成清 四男美による

『九州経済産業局 令和3年度予算説明』の様子

